

表1. 形容詞ごとの与格交替の可否

他動形容詞				二重主語文	
許容	心情形容詞	許容	感覚形容詞	許容	叙述形容詞
○	ウラヤマシキヤ「羨ましい」	○	ウルサキヤ「うるさい」	×	アカキヤ「赤い」
○	オッカナキヤ「怖い」	○	ヒヤッコキヤ「冷たい」	×	オソキヤ「遅い」
○	カナシキヤ「悲しい・可哀そうだ」	○	ヌルキヤ「温い」	×	オモキヤ「重い」
○	キツキヤ「きつい」	○	ネムキヤ「眠い」	×	カウエーシキヤ「かわいい」
○	クルシキヤ「苦しい」	○	マブシキヤ「眩しい」	×	カシコキヤ「賢い」
○	クヤシキヤ「悔しい」	○	ヤカマシキヤ「喧しい」	×	ツヨキヤ「強い」
○	コワキヤ「怖い」	×	アマキヤ「甘い」	×	ナガキヤ「長い」
○	サメシキヤ「寂しい・怖い」	×	カラキヤ「辛い」	×	ヨワキヤ「弱い」
○	ツラキヤ「辛い」	×	スツパキヤ「酸っぱい」	×	ヨキヤ「良い」
○	メンドークサキヤ「面倒くさい」	×	ツメタキヤ「冷たい」	×	キレーダラ「綺麗だ」
○	ゴーハラダララ「業腹だ」	×	ニガキヤ「苦い」	×	ジョーズダラ「上手だ」
○	ニガテダラ「苦手だ」	×	マズキヤ「不味い」	×	ヘタダラ「下手だ」
○	ヤダラ「嫌だ」				
×	ウレシキヤ「嬉しい」				
×	ニクキヤ「醜い」				
×	ハジガマシキヤ「恥ずかしい」				
×	ホシキヤ「欲しい」				
×	キレーダラ「嫌いだ」				
×	スキダラ「好きだ」				

表2. 末吉方言の与格交替の階層

二項述語タイプの階層	他動形容詞文 > × 暫定二重主語文 ・ × 二重主語文
他動形容詞の階層	心情述語 > 感覚述語 > × 叙述述語
刺激タイプの階層	ネガティブな刺激 > × ポジティブな刺激
人称	3人称・2人称 > 1人称(複数) > × 1人称(単数)

表3. 先行研究諸方言にみられる階層との対照

	他動形容詞文				暫定二重主語文	二重主語文	一項形容詞文
	心情形容詞		感覚形容詞				
	ポジ	ネガ	ポジ	ネガ			
八丈末吉	×	○	×	○	×	×	×
武雄北方	—	○	×	○	×	×	×
椎葉尾前	○	○	×	×	×	×	×
甌里	○	○	○	○	○	×	×

用例一覧

- (1) ウイガ ハナシニ オモシロガッテ。 (八丈三根、金田 2001)
あの人の 話に (を) おもしろがって。
- (2) ワラ ネッコメニ サメシクテ ダメダラ。 (八丈三根、金田 2001)
私は 猫に (を) 怖くて 駄目だ。
- (3) セーカツ {ガ/ニ} キチー。
(俺は) 生活が きつい。 (椎葉尾前、下地ほか 2018)
- (4) リョーリ {ガ/*ニャー} アッタラカー。
料理が もったいない。 (甌島里、久保蘭 2018)
- (5) オラー カタ {ガ/*ニ} キチー¹。 (椎葉尾前、下地他 2018)
俺は 肩が きつい。
- (6) ワシラノ カカッタ センセーワ ソロバンニ ヘタデ、 (鳥取県因幡南部、藤原 1997)
私たちが かかった 先生は そろばんが 下手で、
- (7) ゴチソー {ガ/*ニ} モッテネー。
料理が もったいない。
- (8) ゴロゴロサマ {ガ/ニ} オッカナケンテ イキタクナツキヤ。
(私は) 雷が 怖いから 行きたくない。
- (9) イヌメ {ガ/ニ} オッカナケンテ イキタクナツキヤ。
(私は) 犬が 怖いから 行きたくない。
- (10) ムカシワ センセー {ガ/ニ} コワカローモンダラノー。
昔は 先生が 怖かったものだ。
- (11) セーカツ {ガ/ニ} クルシキヤ。
(私は) 生活が 苦しい。
- (12) タロー {ガ/*ニ} スキダラ。
(私は) 太郎が 好きだ。
- (13) ウノ イヌメ {ガ/*ニ} カウエーシケンテ ミニ イキタキヤ。
あの 犬が かわいいから 見に 行きたい。
- (14) アラ ツブリ {ガ/*ニ} ヤメロワ。
私は 頭が 痛い。
- (15) アラ オヤ {ガ/*ニ} ビョーキダラ。
私は 親が 病気なんだ。
- (16) アラ セー {ガ/*ニ} タカキャナー。
私は 背が 高いな。
- (17) アレンチエーワ オドリ {ガ/*ニ} ヘタダラーガ、
私などは 踊るのが 下手だったけれども、

¹ 「キチー」は刺激ではなく、第一項と第二項は、全体と部分の関係。

- (18) アガ ホーベーフ カオ {ガ/*ニ/*ン} オッカナキヤ。²
私の 友達は 顔が 怖い。
- (19) ワガエノ オヤ {ガ/ニ/ン³} オッカナケンテ デラレンナカ。
私の家の 親は 怖くて 出られなかった (出かけられなかった)。
- (20) ムカシワ センセー {ガ/ニ} コワカロー モンダラノー。
昔は 先生が 怖かった ものだ。
- (21) ウノヒトニ マケター {ガ/ニ} {ゴーハラダララ/クヤシカララ}。
(私は) あの人の 負けたのが いまいました/悔しかった。
- (22) ウノヒトニ アワー {ガ/ニ} オッカナカララ。
(私は) あの人の 会うのが 怖かった。
- (23) ウノヒトラ {ガ/ニ} ヤカマシカララナー。
あの人たちが うるさかったよ。
- (24) ウノヒトノ ハナシ {ガ/ニ} ネムケダラ。
あの人の 話は 眠い (眠くなる)。
- (25) ユ{ガ/ニ} ヌルケンテ ヘーリタクナツキヤ。
湯が ぬるいから 入りたくない。
- (26) アラ オヒサマ {ガ/*ニ} マブシキヤ。
私は 太陽が まぶしい。
- (27) アラ オメー {ガ/*ニ} ウラヤマシキヤ。
私は あなたが うらやましい。
- (28) ウノヒトワ オヒサマ {ガ/ニ} {マブシカッチーヤ/マブシケガンダラ}。
あの人は 太陽が まぶしいようだ。
- (29) タローワ ハナコ {ガ/ニ} {ウラヤマシカッチーヤ/ウラヤマシケガンダラ}。
太郎は 花子を うらやましがっている。
- (30) タローワ ハナコ {ガ/ニ} ウラヤマシカララ。
太郎は 花子が うらやましかった。
- (31) オメーフ オヒサマ {ガ/ニ} マブシクナカラーカー？
あなたは お日様が まぶしくなかったか？
- (32) オメーフ ハナコ {ガ/ニ} ウラヤマシクナカラーカー？
あなたは 花子が うらやましくなかったか？
- (33) オヒサマ {ガ/ニ} マブシケンテ ユーガタ イコゴン。
(私たちは) お日様が 眩しいから 夕方 行こう。
- (34) ワレンチェーフ ハナコ {ガ/ニ} ウラヤマシカララ。
私たちは 花子が うらやましかった。

² カオは主語アガ ホーベーフの一部とみなす。

³ 八丈語でニ格は「ニ」のほか、直前の拍が促音以外の場合は「ン」で実現される場合がある。

(35) アラー ヨメ {⁴ー/ガ/*ニ} ホシキヤ。

俺は 嫁が 欲しい。

(36) アラー ヨメ {*/ー/ガ/ニ} オツカナイ。

俺は 嫁が 怖い。

⁴ 本調査では「ヨマー」と発音されていたが、伝統的には「ヨメ」の語末母音がヨ格と融合し、e+wo=i:となり、「ヨミー」と発音される。